

2013年10月1日

報道関係各位

三菱地所株式会社

三菱地所ホーム株式会社

2013年度グッドデザイン賞

森林経済を活性化してゆく持続可能なプロジェクト「空と土 国産材高価値化プロジェクト」

～国産間伐材や小径木を積極利用する、持続可能なビジネスモデルを評価～



三菱地所グループ全体では、6件のグッドデザイン賞を受賞

三菱地所株式会社と三菱地所ホーム株式会社の「空と土 国産材高価値化プロジェクト」の取り組みが、2013年度グッドデザイン賞（Gマーク）を受賞しましたのでお知らせします。

尚、三菱地所グループでは、本プロジェクトをはじめ6件のグッドデザイン賞を受賞しております。

「空と土 国産材高価値化プロジェクト」は、三菱地所グループがCSR活動の一環として実施している都市と農山村の交流活動「空と土プロジェクト」から誕生したもので、今までは廃棄するしかなかった間伐材や小径木を、高品質な国産の構造材として三菱地所ホームの戸建住宅に標準採用することで、高付加価値化するとともに、継続的な取引により国内林業の持続的発展に寄与する取り組みです。

約4割の森林が国有林でトレーサビリティが明確な森林認証（FSC®認証※）を取得した日本最大規模の森林を持つ山梨県と、長期に渡って資源開発を協力して行う協定を締結することで国産材の安定供給を確保するとともに、構造材としての強度を担保する流通加工の仕組みを整備することで、ツーバイフォー住宅メーカーとしてトップクラスの国産材化率50%超を実現しました。

（グッドデザイン賞審査委員の評価コメント）

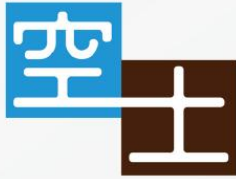
ツーバイフォー工法用の構造材の国産化を目指したプロジェクト。国産材は一般的に輸入材に比較し数倍ものコストになってしまうところを、間伐材や小径木といった森林資源に特殊加工を施すことによって、1級構造用合板やLVL※の梁材へと積極利用することで持続可能なビジネスモデルとした点は評価できる。

三菱地所グループでは、今後も、本スキームを他の地域や同業者も応用することができるよう、事例紹介や情報共有を積極的に行うことで国内の森林保全及び森林経済の活性化を図ってまいります。

※FSC®（Forest Stewardship Council®、森林管理協議会）のロゴマークは、その製品に使われている木材あるいは木質繊維などが環境・社会・経済の観点から適切に管理された森林より生産されていることを意味します。その森林はFSCにより規定された原則と基準に基づいて、独立した第三者機関により審査を受け評価されています。<http://www.fsc.org> FSC-N002014

※LVL（Laminated Veneer Lumber）：単板積層材。単板の繊維方向を合わせて積層した構造材。

1級構造用合板、LVL梁材の商品化による持続的森林経済活動の構造化プロジェクト



国産材高価値化プロジェクト

「空と土」国産材高価値化プロジェクトとは従来は100%輸入材であった2×4工法用の構造材を品質向上と安定供給の観点から国産化を進め、今までは廃棄するしかなかった間伐材や小径木材を、強度の高い1級構造用合板やLVLの梁材へと積極利用し品質という高付加価値をつけて、森林経済を活性化してゆく持続可能なプロジェクトを確立

森林経済活動の構造化POINT

1

森林経済活動の推進

間伐材や小径木材を活かした製品開発

三菱地所グループの利用だけでなく製品化の過程で国内の2×4工法用構造材供給のための林業、製材業のネットワーク化を構築し実現した。本ノウハウにより、他地域でも同様の仕組みを波及させる取り組みを拡大している。

2

森林認証 (FSC) 材の品質

製品のトレーサビリティ明確化と県産材による品質確保

地域との信頼ある連携の結果、山梨県と「県産材利用拡大協定」を締結することができ、安定供給を担保すると共に県産材表示によって山梨県産材ブランド価値向上にも寄与している。

3

日本仕様の2×4工法へ

輸入材規格の2×4工法を国産材に合わせた基準へ

釘の接合部強度試験をはじめとした各種部材強度試験データを蓄積し、多くのハードルを越えながら一歩ずつ品質向上と高価値化に必要な検証を進めた。

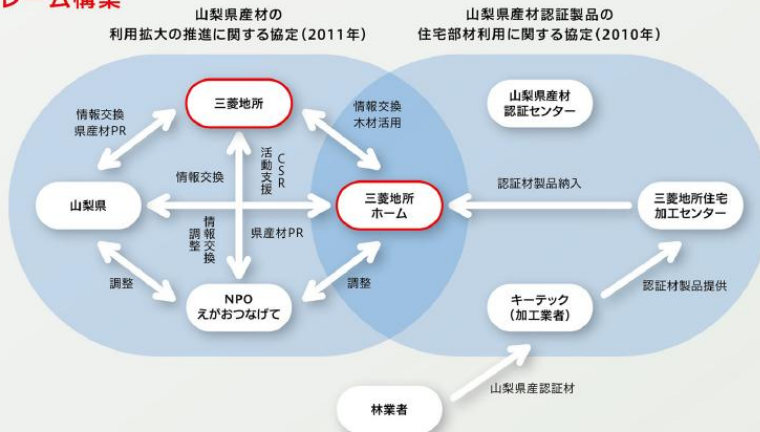


LVL梁

I形ジョイスト

製品となったLVL梁とI形ジョイスト

県産材安定供給のためのフレーム構築



加工された1級構造用合板

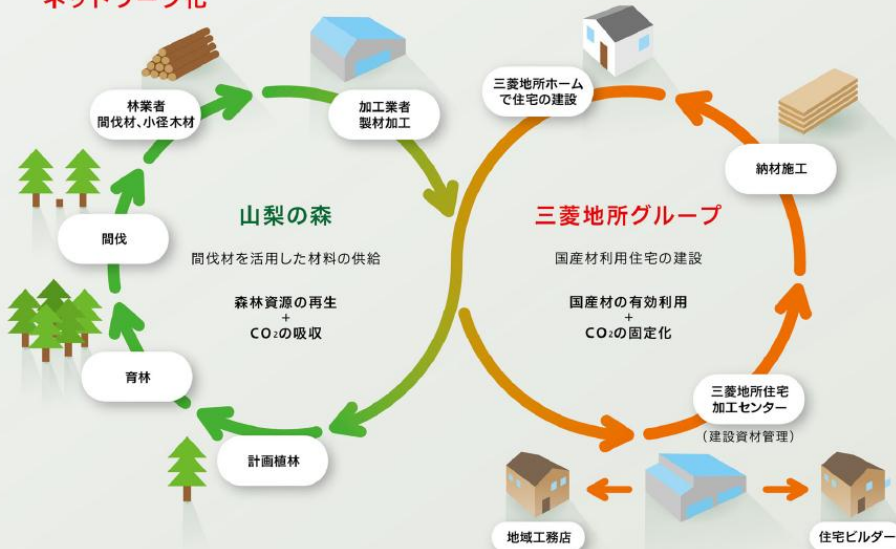


三菱地所グループ、山梨県知事も交え協定を結ぶ(2011年)



山梨県産材認証表示が可能に(2010年)

森林経済活動を持続させるネットワーク化



釘の強度試験実施(2009年)



曲げ強度について確認(2009年)



小径木間伐材の選定



国産材を利用した建設現場

<三菱地所グループのその他の受賞事例>

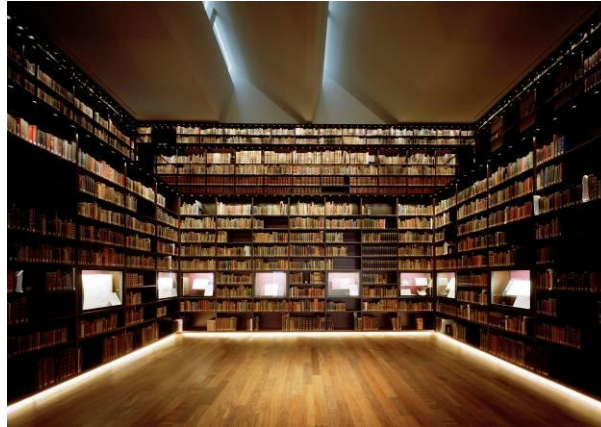
●熊谷商工信用組合本店社屋（三菱地所設計）



埼玉県熊谷市の風土に調和する「地域に根差した信用組合」の本店社屋。

かつての宿場町（熊谷宿）の軒先にあった簾をモチーフにし、旧中山道側のファサードをテラコッタルーバー（高層部）と透かしレンガ積（低層部）の「簾スクリーン」として軽やかに設えました。これにより、夏季の日射遮蔽、適度な目隠し機能、親しみを感じる国道側の佇まいを同時に実現しています。建物内外は風合いのある落ち着いた質感に仕上げ、時間帯やライトアップによって多様な表情が生まれる仕掛けを施しました。

●東洋文庫（三菱地所設計）



大正13年に設立された東洋文庫の建替プロジェクト。

国宝や貴重な書籍の保存及び研究機能を高めるとともに、その普及のためミュージアムやカフェを新設しました。

外装は、幅の違う大判のタイルで本が並ぶ知の集積を表現し、また、本の装丁に使われる透かしをモチーフに僅かな凹部分で草模様を施しました。

書架で囲われた展示室や朱をアクセントにした内装、奥へ行けばいくほど新しい発見がある空間構成など、「本」「知」「東洋」をコンセプトに東洋文庫を表現しました。

●ザ・パークハウス 池田山（三菱地所レジデンス）



城南五山の一つ、岡山藩池田家の広大な下屋敷があった『池田山』という歴史ある閑静な地に誕生した低層レジデンス。

「記憶の継承と新しい風景の創造」をコンセプトに、旧総理大臣公邸であったこの地の既存樹や景石を保存するとともに、ヨーロッパの古典建築から続くシンメトリーな様式を取り入れ、彫りの深い石造りの建築を思わせる重厚な外観デザインとしました。

●ハイプロテクトウォール構造（三菱地所ホーム）



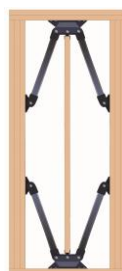
ハイプロテクトウォール



「ハイプロテクトウォール構造」は、高い耐震性と開放感のある大空間・大開口の両立を実現させるために開発した三菱地所ホームのオリジナル構造技術です。国産の間伐材を有効利用した構造用合板による高耐力壁「ハイプロテクトウォール」をはじめとする高強度の構造部材をツーバイフォー工法の構造材として使用することにより、自由自在な設計プランニングと空間デザインを存分に楽しみながら、より安心・安全な住まいを実現することができます。

●エムレックス（三菱地所ホーム）

三菱地所ホームの制震システム



「エムレックス」は、ツーバイフォー工法用に開発した地震による建物の揺れを抑制する制震システムです。本システムを採用することにより、頻発する地震と余震も含めた繰り返しの振動からくる建物の構造躯体や内外装材の劣化を抑え、耐震性能の長寿命化と地震被災時の補修にかかる費用の軽減に寄与し、建物のライフサイクルコストを削減することができます。

< 物件概要 >

熊谷商工信用組合本店社屋

所在地	埼玉県熊谷市本町 2-57
事業主体	熊谷商工信用組合
敷地面積	1,187.24 m ²
構造/規模	RC 造、一部 S 造 (免震構造) / 地上 6 階建
設計監理	株式会社三菱地所設計
施工	株式会社大林組
竣工	2012 年 9 月竣工済

東洋文庫

所在地	東京都文京区本駒込二丁目 28 番地 21 号
事業主体	財団法人東洋文庫
敷地面積	3,693.81 m ²
構造/規模	SRC 造、一部 S 造・RC 造 / 地上 7 階、地下 1 階建
設計監理	株式会社三菱地所設計
施工	戸田建設株式会社
竣工	2011 年 9 月竣工済

ザ・パークハウス 池田山

所在地	東京都品川区東五反田 5 丁目 60 番 278 (地番)
事業主体	三菱地所レジデンス株式会社
敷地面積	1,465.8 m ²
構造・規模	RC 造 / 地上 3 階、地下 1 階建
住戸数	26 戸
設計・監理	大豊建設株式会社一級建築士事務所
デザイン監修	有限会社芦原太郎建築事務所
ランドスケープ デザイン監修	庄島設計室株式会社
施工	大豊建設株式会社東京支店
竣工	2012 年 11 月竣工済